



医療法人経営の効率性

公認会計士 石井孝宜

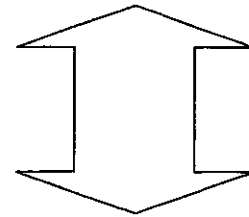
現状報告(外部からの批判等)

- 医療法人経営の効率性
 - 医療機関の経営の不透明性
 - 医療機関経営の非効率、不経済
- 医療法人に限らず、事業内容の多様化と規模の拡大という事実の存在

病院経営管理の困難性

- 病院経営の目的

「良質な医療を適切に、無駄を抑えて効率的に提供すること」



- 営利企業経営の目的

「合法的に利潤を最大化すること」

病院における経営評価

—〔医療の質〕—

[質の管理 I]

- ◎機能評価機構による外部評価

[質の管理 II]

- ◎ISO導入等内部における質の向上

[医療行為の結果]

- ◎成果分析 (アウト・カム)

[経営の効率性]

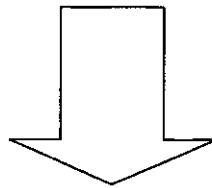
- ◎関係者への経営内容の開示
- ◎経営管理、原価計算

経営の現場からの現状認識

- 医療法人経営の効率性
 - 医業経営における経済性や効率性の重要性に対する意識が十分に認識されているか？
 - 外部への業務委託よりも内部における意識変革が必要なのではないか？
 - 意識のみで改革は成し得るか？
 - 意識と知識と経験のすべてが満足なレベルに達しているか？

病院経営における自己管理機能の問題点

- 医療における無駄の存在の必要性



- 時として

「不必要な無駄、垂れ流しの無駄」の認知

○残念ながら個々の適切な努力は全体の成果にそのままは結びつかない。

組織的な管理の必要性

- 経営情報というものが十分に掌握されて、管理されて、分析評価されて、伝達されていない
- 必要なものは何か
 - 経営システムの構築
 - 管理体制の確立
 - 人材の育成、調達

経営効率性を管理する部門は？

- 組織運営の効率性を確保することが必要
- 管理の中心は事務部門
- 事務(管理)部門の役割の増大
 - ⇒例えば、正確な財務情報、予算原価管理、病院原価計算、意思決定計算(ex. 外注の効率性評価)
- 理念があっても技術力が無ければ管理不能

必要不可欠な経営管理者養成

- 医療の現場の変化
 - 医師の臨床研修義務化
 - 認定看護師、認定看護管理者の養成
 - 診療情報管理士制度の普及
- 不足している事務管理者養成
 - 旧病研、日病、改善事業において実施しているが、、、

結 論

- 病院経営内部において合理的で適切な意思決定システムを構築することが最も大切な施策
 - 現在従事している事務職員の教育、研修の実施
 - 医療界以外からの事務管理職の登用のための教育プログラムの確立
 - ・・・雇用のミスマッチの解消にも貢献